



IWATE BANK NEWS LETTER



平成29年2月24日

株式会社岩手銀行
株式会社北日本銀行

～「いわて産学連携推進協議会（リエゾナーⅠ）」への取組み～ 「第14回リエゾナーⅠ研究開発事業化育成資金」贈呈について

岩手銀行（頭取 田口幸雄）、北日本銀行（頭取 佐藤安紀）では、両行が参画する「いわて産学連携推進協議会（リエゾナーⅠ）」のおもな活動として取り組んでいる「研究開発事業化育成資金」贈呈事業について、第14回となる今年度の贈呈先が決定しましたのでご通知申し上げます。

記

1. 「いわて産学連携推進協議会（リエゾナーⅠ）」について

(1) 大学等の研究シーズ（新たな技術等）と企業の技術・製品開発等のニーズをマッチングさせることにより新事業の創出を図ることを目的に、平成16年5月に設立しました。

現在、3金融機関と10研究機関が参画しています。

(2) おもな活動は、「リエゾナーⅠマッチングフェア」の開催、岩手県内の金融機関による「リエゾナーⅠ研究開発事業化育成資金」の贈呈等です。

2. リエゾナーⅠ研究開発事業化育成資金の贈呈について

(1) 創設目的

① 企業等が有する技術・製品開発等のニーズと大学等が有する高度な技術研究成果とを共同研究等を通じてマッチングさせることにより、「事業の多角化」や「新たなビジネス創出」を積極的に支援するものです。

② また、この育成資金を呼び水として、大学等にある「事業の芽」「技術の種」を企業等が事業化に向けて研究開発に積極的に取組むことを期待するものです。

(2) 対象先

① 「リエゾナーⅠ」に参画している研究機関との共同研究により新たな事業化を目指している企業等で、企業等の所在地域は、岩手県、青森県、秋田県、宮城県とします。

② なお、地域の中小企業支援の観点から、証券取引所上場会社およびそのグループ企業等は、原則として応募できません。

③ すでに受賞したことがある企業は原則として申請できませんが、つぎの条件を満たす場合のみ対象とします。

- a 過去に受賞した事業計画の内容と重複していないこと
- b 過去に受賞した事業がすべて事業化されていること

岩手銀行



IWATE BANK NEWS LETTER



(3) 贈呈金額

- ① 年間贈呈額1,500万円を上限とします。
- ② 1先あたり200万円を上限とします。

3. 今年度の贈呈について

(1) 贈呈先企業

7社に対し1,050万円の贈呈を行いました。

なお、贈呈先は別紙『第14回リエゾン-I 研究開発事業化育成資金』贈呈先一覧』のとおりです。

(2) 現在までの贈呈状況

第1回から第14回までの贈呈件数金額は、延べ93件の1億2,600万円となりました。

(3) 贈呈式の開催

平成29年2月24日(金)に岩手大学構内(コラボMIU)で開催され、金融機関を代表して岩手銀行田口頭取より7社の代表者に認定証の授与および目録の贈呈を行いました。

【贈呈式の様子：受賞企業の代表者とリエゾン-I 支援機関との記念撮影】



<本件に関するお問合せ先>

岩手銀行法人戦略部 曾我 TEL: 019-624-8325
北日本銀行営業統括部 松本 TEL: 019-626-6324

岩手銀行

「第14回リエゾン I 研究開発事業化育成資金」贈呈先一覧

(平成29年2月24日贈呈)

○ アイカーボン 株式会社

代表者：代表取締役社長 伊集院 乗明

住所：青森県八戸市北インター工業団地五丁目3番13号

事業計画名：リサイクル炭素繊維の表面改質による高強度炭素繊維強化プラスチックの開発

共同研究者：岩手県工業技術センター 機能表面技術部長 鈴木 一孝

計画の要約：炭素繊維は、プラスチックとの複合材にて使用されることから、繊維と母材樹脂との接着性向上は重要であり、更なる接着強度向上が求められている。本計画では、電気分解法で得られたリサイクル炭素繊維表面を新たな表面処理材で改質し、プラスチックとの接着強度を高めることとしており、岩手県工業技術センターおよび特徴のある接着強度改良材を保有する株式会社いおう化学研究所と協力し、本育成資金を活用して下記の検討を進めていく。

- ① 炭素繊維表面の特性解析（表面官能基の分析）
- ② 強度改良材による繊維と樹脂との接着強度向上
- ③ 接着強度発現の理由解明による炭素繊維及び強度改良材の設計最適化

贈呈金額：200万円

○ 株式会社 モディー

代表者：代表取締役 村上 竜也

住所：岩手県一関市字沢297番地14

事業計画名：PIUS Education Version「次世代エンジニアの為の実践型トレーニングキット」

共同研究者：一関工業高等専門学校 電気情報工学科 教授 郷 富夫

計画の要約：当社は、産学官連携プロジェクトで一関高専と教材を共同開発した。この教材は、教科書のほか、自社開発した分解／組立が可能で小型電動車両を含み、座学と実習双方から学ぶことができるものである。高専や海外へ事業展開を進めていく中で、教員に自動車に対するスキルが求められる課題が生じたため、現在、教員向けのサポートプログラムや指導教本の制作を行っている。今回の贈呈金はこの制作資金に充て、教材の導入ハードルを抑えるとともに、より広く教材を普及させていきたい。

贈呈金額：200万円

○ 有限会社 マルヒ製材

代表者：代表取締役 日當 粕太郎

住所：岩手県久慈市夏井町大崎第15地割1番地1

事業計画名：岩手県産アカマツ小径木を活用した幅ハギ集成耐力床材の開発

共同研究者：岩手大学 農学部 教授 関野 登

計画の要約：今回開発する幅ハギ集成耐力床材は、住宅の床構面を強くする「ネダレス構法」に使用する合板と同等の耐力を有する面材であり、県産のアカマツ小径木を活用した板材を横方向に幅ハギし製作する。本研究では、公的な試験によって実務に必要な強度を明らかにし、床の仕上げ材として活用することで、構造性能と同時に内装材として木質化を図ることが可能となることから、岩手県の木である「アカマツ」を活用し、更なる木材利用による森林活性化の一助としたい。

贈呈金額：200万円

○ 株式会社 長島製作所

代表者：代表取締役 新宮 由紀子

住所：岩手県一関市東台14番地34

事業計画名：ブレーキアクチュエータの組付け作業における省力装置の開発

共同研究者：岩手大学 理工学部 教授 平原 英俊

計画の要約：車両のエンジン周辺のゴムクッション組付け工程である、「穴の開いた金属のブランケットに対する成形ゴムの組立」は非常に困難であり、時間をかけて手作業で行うしかなかった。その自動化を過去の失敗によって得られた情報を基に再度設計を行い、自社においてゴム組付け自動機を製作して完成させることで、自動車部品のゴムクッション組付け生産性の向上と作業者のストレス、肉体的疲労をともなう工程の作業環境改善を目指すものである。

贈呈金額：150万円

○ フィンガルリンク 株式会社

代表者：代表取締役 名郷根 正昭

住所：東京都台東区元浅草二丁目6番6号

(花巻工場：岩手県花巻市南新田335-1)

事業計画名：新磁歪・非励磁型磁歪リング式トルクセンサ搭載の医療用トルク計測・制御装置の商品化

共同研究者：岩手県工業技術センター 機能表面技術部 上席専門研究員 桑嶋 孝幸

計画の要約：東北大学、弘前大学との共同研究により開発された、鉄とコバルト合金の新磁歪材を用いたコイルレス磁歪リング式トルクセンサを開発しており、技術的重要課題であるリングとシャフトの接合法については、岩手県工業技術センターと共同研究を行った。この結果により、高性能なトルク計測・精細制御の出来る小型で軽量のトルクセンサが完成し、このセンサを搭載した「骨接合術」に使用する医療機器を、小動物病院や整形外科向けに商品化する。

贈呈金額：100万円

○ トラステックアース 株式会社

代表者：代表取締役社長 山岸 照世

住所：岩手県一関市東台14番地38

事業計画名：脱臭装置の知財活用による自社製品開発

共同研究者：岩手大学 生産技術センター 花巻サテライト 特任教授 対馬 登

計画の要約：光触媒は、全く新しい技術の導入により省スペースの装置の製作が可能であり、新しい市場の創出も期待できることから、本計画により、従来の活性炭フィルターの脱臭機能と光触媒による脱臭・殺菌効果を併せ持った、複合的な新しい装置の開発を目指すとともに、環境改善にも貢献できる製品の開発を共同研究機関と一緒に進めていく。

贈呈金額：100万円

○ 有限会社 多田自然農場

代表者：代表取締役 多田 克彦

住所：岩手県遠野市青笹町中沢15地割34番地8

事業計画名：冷凍無添加・低糖質乳製品の開発

共同研究者：岩手県工業技術センター 食品技術部 専門研究員 清宮 靖之

計画の要約：冷凍プリンの商品化および冷凍無添加・低糖質乳製品の多品目化により、関東以南への販路拡大と海外展開を目指す。

贈呈金額：100万円

以上